

発言者	発言内容 (開会 午後1時30分)
課長	資料の確認と差し替え、野田委員の欠席を案内する。
部長	あいさつ
委員長	進行役を受ける。
課長補佐	資料No. 1の「IV 在宅の介護を応援します」を説明する。 I～IIIについては前回調整会議で説明済み。
委員長	何か質問や意見はあるか。
課長	29ページ以降の図表にある実績について、2017年は9月までの月報数値と平成30年3月までの見込みの数値で記載されている。2018年以降は「見える化システム」による推計と、保険者判断による修正した数値が記載されている。
委員長	介護保険施設より何か意見はあるか。
町内高齢者施設代表	介護の担い手が不足している。特にヘルパーが少ない。介護離職を防止するためにPRするということだけでは難しい。大口町で働くための説明会を検討してみてもどうか。福祉人材センターが開催している説明会は、名古屋市内で就職することになる事業所がほとんどである。大口町を中心としたものができるとうい。
課長	扶桑町と合同で企業説明会を行っている。就職をする選択肢の一つとして、大卒者などの新規を取り込んでいきたい。
大口町介護支援専門員連絡会議代表	介護のために仕事を辞める、パートになるといった話は聞いている。サービス人材の確保は必須である。町内事業所での介護サービスの選択肢は狭い。選択肢が広がるようにサービスを担う人材の確保を期待したい。サービス量に関しては現在では分からないこと部分が多いと思われる。
愛知県江南保健所	総合事業が本格的になってくると、地域包括ケアシステム構築に向けて取り組んでいることである。高齢者サービス調整会議は、地域包括ケアシステムの中で一番上の位置づけとなっている。今後も定例で行われる会議に力を入れていきたい。
民生委員協議会代表	特になし。
介護サービス利用介護者代表	特になし。
介護サービス利用介護者代表	それぞれの立場で抱えている問題を聞くことができた。そういったことに対して、大口町が検討しているということはある。
健康推進員連絡会代表	特になし。

高齢者福祉協力員代表	高齢者福祉協力員の活動を通して、介護者の体調が心配である。
老人クラブ連合会代表	特になし。
尾北歯科医師会代表	自身の仕事の中で、訪問診療が増えたと感じている。人財確保に努めたい。
尾北医師会代表	社本委員の意見に同感である。往診時に介護者のストレスが高く感じられる。在宅医療・介護連携を進めていく中で人財確保に力を入れるべきである。
学識経験者	特になし。
学識経験者	人財確保に関するPRは具体的にどうするのか。 住民型サービスについて、75歳を過ぎた人の介護の仕事をするのは、現実的に厳しいと感じる。若い人に対して力を入れていく方向ではどうか。また、介護の現場をいつでも見ることができる環境を構築することも方法のひとつである。
課長	大藪委員が話された方法も検討する必要がある。今後検討をしていきたい。
学識経験者	数値に関して3点質問をする。 ①35ページ。2017年から2018年の見込みが減っている部分について。 ②住宅改修の伸びについて。 ③通所型サービスBの住民主体の目途について。
エディケーション担当者	見える化システムでの推計数値を使用している。システムの推計は今現在のデータから推計されるため、年度のデータが揃っていない現時点では2018年は減少するという推計がされている。現実には右肩上がりの伸びになると考えられる。介護報酬を含めて再検討する。住宅改修については、在宅生活の基本であるため、整備が必要になるケースが増えることを踏まえて推計されている。
課長	通所型サービスBについて、平成30年からまちづくり組織に働きかける準備をしている。総合事業や地域包括ケアシステムについて説明をさせていただき、より地域で支え合う体制づくりに力を入れていきたい。
委員長	他に質問はあるか。
課長	次回開催案内 1月12日(金)13:30～ 後日変更 1月11日(木)13:30～ 大口町の第7期介護保険計画における、保険料の月額基準額は3,850円となる予定である。大野氏が言われた通り、介護報酬等が分かり次第検討をする。
委員長	他に質問はあるか。議長の職を解く。
課長	終了のあいさつ
	(閉会 午後2時20分)